営農技術情報

令和８年６月１日
宗谷農業改良普及センター
本所　　（TEL01634-6-1414）
北部支所（TEL0162-82-2119）

牧草収穫期の安全作業等について

～事前準備は万全ですか？～

□機械マネジメント（機械破損の防止）

・日常点検のほかに昨年の点検記録をもとに必要な準備を進めましょう。

（予備部品の在庫確認、昨年壊れた箇所は自分で再点検。）

・アイドリング時間をしっかり確保し、異音がないか？などチェックしましょう。
・作業中に異物が詰まったり、異音がするなど異常に気付いた時は、エンジンを必ず停止させて作業しましょう。

□圃場マネジメント（誰でもわかるように）

・目印の設置：複数の作業者が入る場合、目印をつけましょう。
圃場の取り違え防止例：圃場の入り口に目印の旗をたてる。
圃場の取り付けにラッカースプレーで圃場番号などを明記。

・危険箇所対策
近づくと危険な場所は、あらかじめ地図にて印をつけて共有しましょう。また、圃場作業が始まる前に、圃場内にあらたな危険箇所がないか確認しておくと安心です。

・圃場出入口の安全確保
圃場出入り口付近の枝払いと草刈りをしておき、視界を確保させておきましょう。

□バンカー・土場マネジメント

・天気や収量に左右されないよう、バンカーサイロやスタックサイロの周辺整備をしておきましょう。
・ラップ置き場はスムーズに積めるように、地ならしなどの手直しをすすめておきましょう。

□作業者のマネジメント（無理しすぎない）

・疲労が蓄積すると集中力も落ちるので、こまめな休憩と頻繁な声かけを行いましょう。
・熱中症予防のため、こまめな水分補給を心がけましょう。
・１日の作業量は余裕をみた計画にしましょう。

宗谷農業改良普及センターＨＰでは
お役立ち情報満載！
普及センターHP
もご覧下さい

□平時からの備え（災害への備え）

・排水路や河川近くなど、滞水の可能性が高いほ場については、突発的な大雨に備えて牧草の刈取りから搬出までをできるだけ短期間に終えましょう。